

# 希望の風



下関市長の部屋

平成30年

今年1年を振り返って

**こ**んには。市長の前田晋太郎です。早いもので市長に就任してあっという間に2度目の年末を迎えました。今年、明治維新150年を記念する年でした。また、来年の今上天皇御退位に伴い、平成も残りわずかとなり、皆さんも時代の節目を感じられる1年であったのではないのでしょうか。

下関市は歴史の深いまちです。歴史をたどっていくと、日本の歴史の節目や大きな転換期にたがび下関の名前が現れています。わが市が持つ素晴らしい歴史資源をもっとと磨いて、これから訪れる多くの来関者へ感動を与える事のできる下関市でありたいと思っています。

さて、今年1年を振り返ってみますとさまざまな出来事がありました。総じて順調に2年

目の市政運営を行うことができました。市長として初の当初予算対応、インバウンドによる観光客の増加、小・中学校へのエアコン設置の決断や市役所の解体着工などトピックスを挙げていくときりがあります。市民の皆さんの温かいご支援とご理解に改めて感謝いたします。

これからも市民の皆さんが安心して元氣よく、ずっと下関市で暮らしていけるよう、しっかりと対応していきます。そして、「市報」の「せき」などを通じて、下関市の情報発信には力を入れていきたいと思えます。市長コラムもお楽しみに！

**来**年「海峡と歴史のまち・下関」と共に走り続けていきますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしく願います。皆さんよいお年を！



海響マラソン(42.195km) 2年連続完走！

## はじめまして 地域おこし協力隊です！

### 豊北地区

今日は、今年の4月に豊北地区に着任した「地域おこし協力隊」の新野加奈さんと、地域での活動の様子などについて紹介します。

### 地域おこし協力隊員(豊北地区)

新野 加奈(にいのかな)

今年の3月まで12年間、茨城県で保育園の栄養士として、献立の作成や食育、地域の子育て支援など、保育に関わる仕事に従事。性格は思い立ったら即行動に移したいタイプ。これまでもさまざまなことにチャレンジしてきた。



4月に茨城県阿見町から移住し、下関市地域おこし協力隊員として活動している新野加奈です。

11年前に旅行で豊北町角島を訪れました。目の前に広がる青い海と白い砂浜を見た瞬間、あまりの美しさに驚き、感動しました。

昨年、再び下関市を訪れたとき、豊北町に住んで、ここで働きたいと決意し、気が付けば、地域おこし協力隊に応募していました。

新たな生活が始まると不安や焦りから初めてホームシックにかかりました。でも、関門海峡花火大会や馬関まつり、豊北夏まつりに参加し、商工会青年部の皆さんと活動していくうちに、その感情もいつしか消えていました。多くの地域の皆さんの思いに触れ、豊北町を多くの方に知ってほしいとい

う思いが強まってきました。

地域おこし協力隊として、地元で採れた農・海産物を使用した新たな特産品の開発やSNSによる豊北町の魅力発信、冬季の集客事業の立案、商工会青年部豊北町支部のお手伝いなどを行っています。

7月には、ジュニア下関PR隊として角島小学校の児童と「角島名物住人マップ」を作成し、来島した観光客にマップを配布。9月には、着任時から考えていた「ビーチヨガinほうほく」を企画、実施しました。イベントを企画し実施することは大変でしたが、参加者から次回



ビーチヨガinほうほく

開催を望む声を聞くことができ、励みになっています。

移住して感じたことは、「どこに住んでいても自分の気持ち次第でなんでもできる」ということ。地域の皆さんが本当に優しく、皆さんの応援がとても嬉しいです。

美しい海、山、川、おいしい食べ物がある豊北町を、私の視点で伝えていきたいです。毎日ワクワクする豊北町に移住できたことに感謝し、これからも活動していきます。よろしくお願いいたします。



下関市豊北町の魅力発信



ジュニア下関PR隊(角島小学校)